

第6回 米代川大規模氾濫に関する減災対策協議会（令和2年8月3日開催）

令和元年度の取組状況、令和2年度取組計画及び「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画の改定に伴う、本減災対策協議会の取組内容の追加について審議していただき、承認された。

- 近年の洪水により、鉄道被害が相次いだことから、鉄道事業者が協議会へ参画することで、規約改正を行った。
- 協議会委員11名の出席のもと、取組内容のフォローアップ及び「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画の改定に伴う、取組内容の追加について審議していただき、承認された。
- 情報提供として、マイ・タイムライン作成支援、秋田地域メディア連携協議会、既存ダムの洪水調節機能強化（事前放流）、流域治水プロジェクト、起債の活用状況について説明した。

議事概要

1. 日時・実施状況

日時：令和2年8月3日（月）
会場：能代河川国道事務所 会議室
出席者：能代市長
北秋田市市長
大館市長
鹿角副市長
秋田県総務部危機管理監（代理）
秋田県建設部長（代理）

秋田県山本地域振興局長
秋田県北秋田地域振興局長
秋田県鹿角地域振興局長
秋田地方気象台長
能代河川国道事務所長
以上、11名

2. 議事

- (1) 議事
 - ①規約改正
 - ②フォローアップ（令和元年度取組状況・令和2年度取組計画）
 - ③「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画の改定に伴う、取組内容の追加
- (2) 情報提供
 - ①マイタイムライン作成支援について
 - ②秋田地域メディア連携協議会について
 - ③既存ダムの洪水調節機能強化（事前放流）について
 - ④流域治水プロジェクトについて
 - ⑤起債の活用状況について



減災対策協議会の様子



齊藤能代市長



津谷北秋田市市長



福原大館市長



阿部鹿角副市長

主な発言内容



齊藤能代市長

平成19年の洪水では二ツ井地区に大きな被害があったが、それ以降は、森吉山ダムの完成や河道掘削の実施などにより、大きな被害は起こっていない状況となっている。国交省のご尽力には感謝申し上げます。今後も、河川整備をしっかりと進めていただきたい。



津谷北秋田市長

平成19年の洪水では北秋田市でも大きな水害に見舞われた。その後、森吉山ダムが完成し、29年、30年の出水でも、下流の阿仁前田地区で水位低下を図るなど、効果を発揮することが出来た。今後も、築堤や河道掘削など、流域治水のあり方を真剣に考えていかなければならない。県管理河川についても、減災に向けて力を入れていただき、感謝申し上げます。米代川流域の住民の方々が、安全で安心して生活できるように、今後も協議会の取組をしっかりと行っていかなければならない。



福原大館市長

7月10日の降雨時、大館市の米代川では大きな出水にはならなかったが、上流の県管理区間では、かなりの降雨があったと思われる。大館で降らなければいいということではないと考えており、流域全体で見なければいけないこと。今後も近隣自治体と連携を密にしていきたいと考えている。



阿部鹿角市副市長

7月10日から12日の降雨はかなり強い雨であったと思われるが、幸い、人的被害や堤防の決壊など無かった。県管理河川でも、河道掘削や築堤の整備、小さな支流等にも河川監視カメラ、水位計など設置していただき、出水時も有効に活用している。今後も、ハード対策をよろしく願いしたい。